

平成26年度 水質事故発生状況

・魚死亡事故

発生日		水系	支川等	市町村	事故区分			原因者等	事故の概要
月	日				魚死亡	油浮遊	その他		
4	13	相模川	一之宮第一排水路	寒川町	○			不明	町民から一之宮第一排水路において、ウナギ、ボラの稚魚が5～6匹死亡しているとの通報があった。翌日に簡易水質検査を行ったところ、特に異常は見られず、新たな死亡魚も確認されなかったため、本件は原因不明で収束した。
5	13	金目川	新川	平塚市	○			不明	市民から城所大排水路でコイが5匹死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、コイが13匹死んでいることを確認した。翌日再度、魚死亡の通報があったため、現場確認を行ったところコイが口をあけて数匹死んでいた。簡易分析を行ったが、特に水質に異常は見られなかった。後日現場確認を行なったが、死亡魚の確認はできなかったため、現場対応は終了した。
8	15	田越川	-	逗子市	○		○ (泡浮遊)	不明	逗子市沼間の田越川において泡浮遊と魚死亡の通報があった。現場確認を行ったところ、泡と魚死亡を確認した。翌日、死亡魚100～200匹を回収したが、現場では生きている小魚も確認された。原因は洗剤等が流されたことによるものと推定されたが、汚染源の特定には至らなかった。事故発生から3日後に現場確認を行い、特に異常が見られなかったため、本件は原因不明で収束した。
8	18	引地川	-	藤沢市	○			不明	引地川の藤沢総合高校付近において、魚が多数死んでいるとの通報があった。現地調査で長後橋下流から死亡魚(オイカワ、アユ、コイ等)が確認された。河川水を採水し、シアンや農薬等の分析を行ったが原因は特定できなかった。また、回収された死亡魚はコイ59匹小魚100匹程度であった。周辺調査を行ったが、原因特定には至らず、本件は原因不明で収束した。
9	19	金目川	城所大排水路	平塚市	○			不明	市民から平塚市の大正橋付近でコイが死亡しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、大正橋の約200m上流にある城下橋の間で、コイとフナが死亡していた。河川水の簡易水質検査を行ったが特に異常は見られなかった。回収した魚はコイ25匹程度、フナ170匹の総重量80kgであった。その3日後にも同じ場所でコイ10匹程度と小魚が死亡していた。後日、確認を行ったが、新たな死亡魚は確認されず、周辺調査からも原因特定には至らなかったため、本件は原因不明で収束した。
9	22	相模川	目久尻川	寒川町	○			不明	町民から寒川町の宮山大橋付近の水路で魚が死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、コイが7～8匹死亡しており、上流からオイカワ、ウグイ等の死亡魚が流れてきたが、生存魚も確認された。河川水の簡易水質検査を行ったが特に異常は見られなかった。周辺調査も行ったが原因特定には至らず、本件は原因不明で収束した。
9	22	引地川	蓼川	綾瀬市	○			不明	綾瀬市の蓼川にある綾瀬大橋付近で死んでいる魚や弱っている魚がいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、河川には魚がほとんどおらず、数cmの死亡魚が数匹見られる程度であったため、死亡魚は流れてしまったと推定された。河川水の簡易水質検査を行ったが特に異常は見られず、上流から死亡魚が流れてくる様子もなかったため、本件は原因不明で収束した。
9	24	相模川	目久尻川	寒川町	○			不明	町民から寒川町宮山の水路で魚が死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところコイのみが3、4匹死亡していたが生きているコイも1匹いた。河川水の簡易水質検査を行ったが特に異常は見られなかった。翌日現場確認を行ったところ、新たな死亡魚はおらず、河川にも異常は見られなかったため、本件は原因不明で収束した。

9	29	山王川	-	小田原市	○		不明	市民から小田原市東町の山王川で魚が浮いているとの通報があった。現場確認を行ったところ通報現場から上流の芦子橋付近まで、アユ35匹、ニジマス1匹が死んでいるのを確認した。河川水の簡易水質検査を行ったが特に異常は見られず、周辺調査からも原因特定には至らなかったため、本件は原因不明で収束した。
10	1	相模川	永池川	海老名市	○		不明	市民から海老名市上河内にある水路で魚とザリガニが死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、現場付近200m程度の範囲で小魚が死んでいたが、死亡魚がいる箇所は、水位が浅く、周辺の水位があるところでは、魚等が生きていた。簡易水質検査を行ったが異常は見られず、その後新たな死亡魚も確認されなかったため、本件は原因不明で収束した。
10	3	金目川	鈴川	平塚市	○		不明	平塚市入野の農業用水路で魚が死亡しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、水路には水がなく、コイ8匹と数百匹の小魚が死んでいた。死亡魚が確認された場所の下流には堰があり、堰から下流の水路には水が流れていた。現場の水路は、現在水を引いておらず、降雨などにより水がある時期に魚が入り込み、水が少なくなり堰の上流側で逃げられなくなった魚が水枯れにより死亡したものと推定されたが特定には至らなかった。その後、新たな死亡魚は確認されなかったため、本件は収束した。
10	4	山王川	-	小田原市	○		不明	市民から山王川で魚が死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、アユが100匹程度死亡していた。翌日、再度現場確認を行ったところ、新たな死亡魚は確認されず、また原因特定には至らなかったため、本件は原因不明で収束した。
11	18	酒匂川	尺里川、 滝沢川	山北町	○	○（泡浮遊）	不明	町民から新尺里橋付近において、魚死亡及び河川の白濁が見られるとの通報があった。現場確認を行ったところ、滝沢川に接続する水路から泡が流入していることを確認した。また、滝沢橋付近において死亡したうぐい及びかじかを確認した。水路で採水した検体の水質分析を行ったが異常は見られず、その後も新たな魚死亡や白濁は見られなかったため、本件は原因不明で収束した
12	13	相模川	一之宮第二排水路	寒川町	○		不明	事業者から付近の水路において魚が死亡しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、フナなど体長数cmの小魚やナマズが死亡しているのを確認し、200~300匹の死亡魚を回収した。死亡魚が最も多く見られた箇所では油臭のない膜状の浮遊物が見られたため、オイルマットを設置した。簡易水質分析や周辺調査を行ったが原因特定には至らなかった。後日、現場確認を行ったところ、新たな魚死亡は確認されず、水路にも異常は見られなくなったため、本件は原因不明で収束した。
12	15	引地川	蓼川	綾瀬市	○		不明	事業者から綾瀬市深谷中の蓼川において、100mの範囲に大きさ5~10cm程度の魚が死んでいるとの通報があった。現場確認を行ったところ、弱っている魚と死亡魚が数匹確認されたが、臭いは確認されなかった。現場や現場下流において簡易水質分析を行ったが、特に異常は見られなかった。死亡魚の検査でも特に異常は見られず、その後新たな魚死亡は見られなかったため、本件は原因不明で収束した。
1	28	相模川	一之宮第二排水路	寒川町	○		不明	寒川町の事業者から、一之宮第二排水路において魚が2~3匹死亡しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、死亡魚は体長20~30cmのコイ3匹であり、生きていたコイも確認された。また、排水路の水は滞留しており、油臭のない膜が確認されたが、出所は不明であった。対応としてオイルフェンスの設置及び死亡魚の回収を行った。簡易水質分析を行ったが特に異常は見られず、後日再度現場確認を行ったところ、異常は見られなかったため、本件は原因不明で収束した。

2	22	中村川	-	小田原市	○	不明	住民から中村川で魚が死亡しているとの通報があった。現場確認を行ったところ、死亡魚が確認された。回収した死亡魚はコイ約50匹、ハヤ、フナなどだった。また、河川水の農薬分析を行ったが特に異常は見られなかった。後日、新たな死亡魚は確認されず、泳いでいる魚も確認された。また、上流の事業所調査を実施したが、原因特定に至らず、本件は原因不明で収束した。
3	25	金目川	矢羽根排水路	伊勢原市	○	工事	住民から伊勢原市東大竹付近の矢羽根排水路で魚が死んでいるとの通報があった。市が現場確認を行ったところ、伊勢原南公民館付近の排水路にてコイを含む魚数十匹が死亡しているのを確認した。調査の結果、現場の上流に位置する解体工事現場から強アルカリの排水が排出されていることが判明した。その後、同地からの排水を停止させ、原因者により死亡魚が回収された。原因者に再発防止を指導し、継続監視することとし、本件は収束した。